

令和6年度 第3回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和6年9月24日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 5名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・畑 孝子
 - ・後藤 さゆり
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(代表取締役)
 - ・松井 宙夢(事務局)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日9/6~9/9)
 - (1) 局制作番組について
「コミプラ! Community plaza」
 - (2) 市民制作番組について
「MAYA MAXX の playpray」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「コミプラ！ Community plaza」

地域づくりの様々な活動をしているパーソナリティーを中心にお送りするトーク番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

9月9日(月)の放送について

「テーマ「褒める」についての話しがされる。テーマを掲げての放送であれば、もう少しテーマについての掘り下げがあっても良いのではないだろうか。視聴者に向けての話し方がもう少しあっても良いのかな？ SLDI のクラブの方針には賛同しています。」

仁志委員

9月7日(土)の放送について

「あまり興味のない音楽から、子育てに関するテーマで「子供をほめる」を聴きました。背景が解らない中でSLDI辻本さんの45分番組、女性二人との掛け合いは、賑やかで楽しい雰囲気だけど、話題が飛んで正直、聞いている人の存在を忘れているのではと感じた今回の番組でした。海外のデンマークの事例などももう少し詳しくお話を聞きたいと感じた時間でした。」

加藤委員

9月7日(土)の放送について

「今回拝聴した回は、子育てがテーマで特にしかり方と褒め方について掘下げて展開していた回でした。子育てで1番難しいところを色んな角度から話しているのを聴き、現在子育て真っ最中の世代にも興味をもって聴いてもらえるのではないかと感じました。」

後藤委員

9月7日（土）の放送について

「スポーツを通しての子育てに関し褒め方について、話の中では叱り方とそのフォローも含めて。スポーツ（教室？）を継続し楽しんでもらうことを大切に子どもへの接し方などは、大人社会にも通じることだと思いました。親の立場からすると、いくつになっても子どもは子どもで、互いに学び続けるので専門家の意見が聴ける番組でした。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。賑やかに話されているのですが、毎回テーマはあるのですか？」

事務局松井

「担当者が週替わりなので、毎回変わります。」

岡委員長

「楽しそうにしゃべっているのは良いのですが、仁志さんの意見にもありましたが、リスナーが置き去りになっているような感じを受けました。どこのラジオ局の番組もそうなのでしょうか？」

事務局松井

「リスナーに問いかけたり、テーマを投げかけたり、考えてもらうのもラジオの役割だと思います。」

仁志委員

「コミュニティ放送としての使命が基本に有って欲しい。」

岡委員長

「SLDIの考えは解ります。褒めるがテーマで楽しむ事は解るのですが・・・」

後藤委員

「実体験は共感する事もありました。」

仁志委員

「辻本さんの背景やどんなスタイルでここに居るのかを説明して貰えたら、より理解できたと思う。」

岡委員長

「自己紹介が必要だと思います。内容を改善していけば、より良い番組になると思います。では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「MAYA MAXX の playpray」

画家、MAYA MAXX がお送りするトーク番組。アート、音楽、映画、本、旅、そして人の出会い…。MAYA MAXX が生きてきた足跡を、その時代の香りとともに語る番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

9月6日（金）の放送について

「フォークの加藤和彦など懐かしい曲や、いい本の「小説100か条」の紹介、「競わない自分だけを深く掘り下げる」など印象的な話もあったが、内容があちこち飛んだり、流れはあまり良くなく聴きづらいと思った。」

仁志委員

9月6日（土）の放送について

「前回も感じましたが、抽象的な表現が多く、中々、話題の世界に入ることが困難だなと感じました。沢山のジャンルと著名人の名前が「ところどころ」気になり聞いていました。味のある番組なのでしょう！今回も、聞きましたが謎が増えました。」

畑委員

9月6日（金）の放送について

「保育園、幼稚園でのアート作品制作活動の紹介あり、今後大人向けに市役所や図書館でも実施してみたいと話されていたのが印象的でした。ベルエポック等の内容にはウィキペディアによる解説を持って進行するという展開。後半は吉本ばなな著の「小説家としての生き方100か条」からいくつかのコメントあり、又、誰もが知っている名前が飛び交い、MAYA MAXX さんの事をほんの少しでしょうが知る時間となりました。」

加藤委員

9月6日（金）の放送について

「作業をしながら聴いていたのですが、作業の邪魔にならない番組でした。その一方で難しいというか聴く側の興味のないことを長く話していると邪魔にはならないのですが、せっきくの番組の印象・内容が残らなかった印象になってしまいました。私の勉強不足ではありますが番組の内容を覚えていないのが本音です。」

後藤委員

9月6日（金）の放送について

「タイトルコールが幼稚園の子どもたちの声、幼稚園での子どもたちとの楽しそうなふれあいの様子は微笑ましかったです。音楽は加藤和彦さんのアルバムの紹介でした。都会的で洗練された音楽とその背景にあるもの、表現の世界の奥深さを感じました。サディスティックミカバンド懐かしかったです。吉本ばななさんの本の中で競わない自分だけを深く掘っていくという一文の紹介がありました。とても難しいことだと MAYA MAXX さんも言われていましたがその後の自分の作品に対する話と共通していて、自分自身の心の手綱の握り方、大切であると共感しました。」

② 審議

岡委員長

「長く放送している番組ですよ。」

事務局松井

「5年以上は放送しています。曲がかかりますが内容の濃い番組だと思います。」

岡委員長

「評判はどうかのしょうか？」

事務局松井

「著名な方なので愛媛県のコミュニティ放送局でもこの番組を聴いて貰っています。」

畑委員

「お祭りやイベントでもアート作品を出していますよね。」

木村委員

「以前放送を聞いた時は、違う世界観をお持ちの方だなと思いました。」

畑委員

「ラジオを聴いている方に語りかけている感じではないですよ。コアな方に向けて話しているように感じました。」

木村委員

「FMはまなすとして、どのような人か他の番組に呼んで紹介してはどうですか？」

岡委員長

「2番組とも良い番組だと思うが、より良い番組になれば良いと思います。ではこれで終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「JC ラジオキックオフ！」

引き続き良い番組作りを行うようお願いした。

(2) 市民制作番組

「なっちゃんの開運トークラジオ」

引き続き良い番組作りを行うようお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和6年10月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。